

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

Cat.No. : 5 4 1 1 0  
 製品名 : Vario アスコルビン酸試薬  
 会社名 : セントラル科学株式会社  
 住所 : 〒112-0001 東京都文京区白山 5-1-3 東京富山会館ビル  
 担当部門 : 品質保証部  
 電話番号 : (03) 3812-9186  
 FAX 番号 : (03) 3814-7538

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類基準に該当しない

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
L(+)-アスコルビン酸	>99.0%	C <sub>6</sub> H <sub>8</sub> O <sub>6</sub>	5-62	50-81-7

### 4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせる。症状の生じた場合は医師の手当を受ける。  
 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で十分に洗い流す。  
 眼に入った場合 : 直ちに多量の流水で 15 分以上洗い流す。異常があれば医師の手当を受ける。  
 飲み込んだ場合 : よく口をすすぎ、多量の水を飲ませる。異常があれば医師の手当を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤 : 水、泡、粉末消火剤  
 火災時特有の危険有害性 : 本製品は不燃性である。  
 加熱時や火災時に有毒なガスが発生することがある。  
 特定の消火方法 : 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は周辺に散水して冷却する。この場合容器に水が入らないように注意する。  
 消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有害なガス又はミストを吸入しないように適切な保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
 保護具及び緊急時措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。風上から作業する。  
 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起さないように注意する。汚染された排液が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。  
 回収、中和 : 掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は多量の水で洗い流す。処理が終わるまで適切な換気を行う。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策： 粉塵や蒸気を発生させない。加熱しない。  
換気のよい場所で使用する。
- 注意事項： 開封や取扱う際に粗暴な扱いをしない。ガス/蒸気/エアロゾルを吸入しないようにする。取扱い後は手を洗淨する。使用中に飲食、喫煙をしてはならない。
- 安全取扱い注意事項： 使用の際は適切な換気を行う。

### 保管

- 技術的対策： 高温、直射日光を避ける。
- 適切な保管条件： 直射日光を避け、乾燥したなるべく涼しい場所に保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 蒸気やミストが発生する場合は局所排気装置を設置する。
- 管理濃度： 設定されていない。
- 許容濃度

- OSHA PEL： 設定されていない。
- ACGIH TLV (s)： 設定されていない。
- 日本産業衛生学会： 設定されていない。

### 保護具

- 呼吸器の保護具： 防塵マスク
- 手の保護具： 保護手袋
- 目の保護具： 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具： 保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

- 形状： 粉末
- 色： 白色
- 臭い： 無臭
- pH： 3.1@20°C (2.3g/L)
- 融点： 191°C
- 沸点（初留点）： 適用なし
- 引火点： 適用なし
- 自然発火温度： 適用なし
- 燃焼性： 不燃性
- 爆発範囲（上限・下限）： 爆発しない
- 蒸気圧： データなし
- 比重： 1.65g/cm<sup>3</sup>@20°C
- 溶解性
- 溶媒に対する溶解性： 333g/L@20°C

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性： 安定
- 反応性： 水溶液は酸と反応する。
- 避けるべき条件： 熱分解するので加熱しない。
- 混触危険物質： アルミニウム、銅、亜鉛、金属イオン、酸化剤
- 危険有害な分解性生物： 特になし。

## 11. 有害性情報

- 製剤についてのデータは無い。

急性毒性：	アスコルビン酸について 経口 ラット LD50=11900mg/kg
皮膚腐食性・刺激性：	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	目に刺激性があるおそれがある。
生殖細胞変異原性：	アスコルビン酸について マウスの小核試験（体細胞を用いる in vivo 変異原性試験）で陰性。
発がん性：	アスコルビン酸について ラット及びマウスの2年間の経口投与試験で発がん性は認められなかった。

## 1 2. 環境影響情報

### 生態毒性

魚毒性：	アスコルビン酸について ニジマス LC50=1020mg/L/96H
------	---------------------------------------

残留性/分解性：	データなし
----------	-------

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	多量の水で希釈して pH を中性に調整した後、下水に流す。 または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
容器：	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 1 4. 輸送上の注意

国連分類：	非該当
国連番号：	非該当
注意事項：	輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

## 1 5. 適用法令

化学物質管理促進法：	非該当
毒物及び劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	非該当

## 1 6. その他の情報

Lovibond Safety Data Sheet Vario Ascorbic Acid (Cat.No.00541109, 541100) 2005.11.10  
 13901 の化学商品 化学工業日報社  
 化学物質安全情報 研究会編 オーム社  
 化学大辞典 東京化学同人  
 関東化学株式会社 製品安全データシート（アスコルビン酸）  
 和光純薬工業株式会社 製品安全データシート（アスコルビン酸）

この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実用性を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。